

# CHAMBER METROPOLITAN TRIO

チェンバーメトロポリタントリオ

伝統的ジャズとクラシック室内楽を融合させた音楽アプローチをコンセプトに三人のミュージシャンがパリに集結、チェンバーメトロポリタントリオを結成した。彼らの創り出すサウンドは、ドラムパーカッションにより編み出されるメロディーとハーモニー、ジャズでは珍しい弓を用いて奏でるコントラバス、そしてオーケストレーションを担うピアノとのセッションに彩られている。

フランス リール市で開催された GOLDEN JAZZ TROPHY 2015 最優秀審査員賞 (ジャン・クロード・カザドゥス/アーチャー・シェップ) そして国際ジャズオーケストラコンクール 2016 (JAZZYMUT) 第3位受賞等、大注目の若手実力派フレンチジャズトリオである。日本伝統文化に着想を得た Bushido(武士道) や Kinkaku-ji (金閣寺) などオリジナル作品も興味深い。

## メンバープロフィール

### ■ マチュー・ロフェ (ピアノ)



幼少の頃よりアマチュアミュージシャンの父よりピアノの手ほどきを受け、13歳でメッツ市地方国立音楽院に入学。2001年バカロレア理学士号を終了後2009年よりパリ市国立音楽院にてエミール・スパンニ氏に師事。ノー・スクエアカルテットアジア&全米ツアー、マテオ・バストリノカルテットヨーロッパツアー、木村百合子アコースティックデュオ来日ツアー、シュール・エクトカルテットイギリス公演等、これまで国際ジャズフェスティバルやラジオ出演等複数のバンドで活躍。2月には、カウンターテナー歌手カルロス・メナ氏率いる Under The Shadow 全米ツアーに参加し、西洋ジャズ&クラシックプロジェクトとして大絶賛を得る。日本文化への造詣も深く、2020年9月にはルクセンブルグ国での宮本武蔵レジデンスプロジェクトが決まっている。マーシャル・ソラルピアノコンクールファイナリスト。

### ■ トーマス・ドゥロール (ドラム)



8歳の頃より独学でドラムに親しみ始め、2009年に数学博士号を取得後22歳で単身渡米し、ニューヨーク市の本場アメリカンジャズミュージシャンとの充実したコラボレーションを経験。これまでフランス国内外でのジャズフェスティバル出演に加え、ヨーロッパ、ロシア、南米、アフリカツアーへの参加など、独学奏者の新鮮な感性と自由で柔軟な音楽的アプローチに加え、アメリカンタッチのスイング感はジャズミュージシャンから絶大な信頼を得ている。フレッシュサウンド社よりトーマ・ドゥロールトリオにて2枚アルバムリリース。ドラムメーカーカーノープス専属アーティスト。

### ■ エチエンヌ・ルナール (コントラバス)



2018年パリ国立高等音楽院ジャズ即興科修了。フランスジャズ即興界でその実力を認められ、これまでピエリック・ベドロン、ジェフ・バラードなど多数のジャズミュージシャンと共演。アーリージャズからモダンジャズ、フォークジャズやワールドミュージックなど、あらゆるスタイルに対応しうる安定した演奏技術と多彩な音楽センスには絶大な定評がある。フレンチジャズ界の明日を担う注目の大型新人ベーシスト!

### ■ 木村百合子 (フルート)



2001年国立音楽大学器楽科卒業後渡仏し、サンモル地方国立音楽院にて満場一致の一等賞を得る。ロジェ・ポーダンフルートコンクール1位大賞、UFAMフルート国際コンクール2位各賞等、クラシックと並行してジャズ音楽の研鑽を積み、2010年パリ地方国立音楽院ジャズ・即興音楽科を卒業。2011年にはフランス・アヴィニオン市ジャズ国際コンクールのファイナリストに選出され、

作・編曲に加えてジャズフルート奏者としての高い評価を受ける。これまで国内外多数のプロジェクトに参加。マチュー・ロフェとのデュオにてはハイブリッドレコードよりニューアルバム"Onde-Corpuscule" (波動と粒子) をリリース。即興演奏パフォーマンスおよびサイレントシネマコンサートなど、作・編曲も併せてヨーロッパを拠点に幅広い音楽スタイルで活躍中。

